

## — 高校生からの提言と同採決 —

### ○黒崎高校生議長

次に、住みよく魅力ある奈良県づくりについての提言を行います。

県立香芝高等学校、4番、岡本響議員から、提言第1号、大和野菜をはじめとする奈良の魅力を知らせてもらう体験型観光の振興について提言決議方の動議が提出されましたので、岡本響議員に趣旨弁明を求めます。

### 提言第1号

#### 大和野菜をはじめとする奈良の魅力を 知らせてもらう体験型観光の振興

### ○岡本議員

県立香芝高等学校を代表して、提言第1号、大和野菜をはじめとする奈良の魅力を知らせてもらう体験型観光の振興につきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。



(県立香芝高等学校 岡本響議員)

奈良県に来ていただき、奈良の魅力をたくさんの人に知らせてもらうための手段の一つとしてガストロノミーリズムがあります。ガストロノミーリズムとは、「その土地の気候風土が生んだ食材、習慣、伝統、歴史などによって育まれた食を楽しみ、食文化に触れることを目的としたツーリズム」のことで、2022年12月には、第7回UNWTOガストロノミーリズム世界フォーラムが奈良で開催されます。

私は小学校の給食で、大和野菜を調理したものや奈良のお米で作られたスイーツを食べたことがあり、非常においしいと思いました。しかし、大和野菜や奈良のお米のスイーツについて学校の先生や友達に聞いても、詳しく知らない人が多く、大和野菜の魅力を伝えたいと思いました。また、大手旅行会社のホームページを見ても奈良公園や大仏・ならまちなど奈良市の中心街ばかりが目立って、なかなかその他の地域は注目されません。

そこで県立香芝高校から、ガストロノミーリズムのモデルツアーとして「飛鳥を食す」を提案します。大和平野の南部に位置する明日香村には飛鳥汁という飛鳥時代が起源とされる郷土料理があり、歴史・観光資源として石舞台古墳などの遺跡が多くあります。これらの「食」と「歴史・文化」を組み合わせ、小さな子どもにも印象に残るツアーを実施することで、参加した子どもたちに何度も奈良を訪れてもらえるような持続的な「奈良のファン」を増やす必要があります。また、実際に現地に行き、大和野菜が育っている風土を体感し、それを実際食べてもらうことで、奈良の魅力ある「食」を多くの人にPRできるのではないのでしょうか。

このように、奈良の食と奈良ならではの魅力を盛り込んだガストロノミーリズムを充実させることで、県内外の多くの人に奈良の魅力を発信することが期待できます。体験型観光の振興を大和野菜をはじめとする奈良の魅力の認知度向上を図る手段の一つとして提言します。

令和4年8月19日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ○大熊議員

ただいま岡本響議員から提案されました、提言第1号、大和野菜をはじめとする奈良の魅力を知らせてもらう体験型観光の振興について賛成します。

### ○大西議員

ただいま岡本響議員から提案されました、提言第1号、大和野菜をはじめとする奈良の魅力を知らせてもらう体験型観光の振興について賛成します。

### ○黒崎高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があつて成立しました。

### ○黒崎高校生議長

次に、県立高取国際高等学校、9番、奥田悠夏議員から、提言第2号、SNSを活用した奈良県のさらなる情報発信について提言決議方の動議が提出されましたので、奥田悠夏議員に趣旨弁明を求めます。

#### 提言第2号

#### SNSを活用した奈良県のさらなる 情報発信について

### ○奥田議員

県立高取国際高等学校を代表して、提言第2号、SNSを活用した奈良県のさらなる情報発信につきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。



(県立高取国際高等学校 奥田悠夏議員)

新型コロナウイルスの影響により、令和元年では奈良県を訪れる日帰り観光客、宿泊観光客の一人あたりの観光消費額はともに全国平均を下回りました。この観光消費額を増加させるためには、コロナ禍においても、多くの人に様々な県の取組や観光地の情報発信をしていくべきだと考えています。

私は多くの情報を発信することが多くの人に届くと考え、動画投稿本数の増加やターゲット層の充実化を推進するという案を考えてみました。

まず、動画投稿本数が増加すれば多くの人目に留まる機会が増え、奈良県に興味を持ってもら

えるきっかけになると思いました。そして、ターゲット層を充実化するために、PR動画の対象を、若者や親世代、高齢者などいくつかの年齢層に分け、ターゲット層に応じた動画作りをするということが必要だと考えました。そうすることで、幅広い年代の方が奈良県に足を運ぶきっかけとなり、日帰り観光客、宿泊観光客の増加に繋がると思います。また、動画紹介施設でYouTubeチャンネル登録特典などを設けることで日帰り観光客、宿泊観光客の一人あたりの観光消費額の増加にも繋がると思います。

このように奈良県がより多くの情報を効果的に発信し、国内外の多くの人に届けることで、奈良県の魅力をより知ってもらえると思います。よって、以上をSNSを活用した奈良県のさらなる情報発信として提言します。

令和4年8月19日奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしく願いたします。

### ○池内議員

ただいま奥田悠夏議員から提案されました、提言第2号、SNSを活用した奈良県のさらなる情報発信について賛成します。

### ○安井議員

ただいま奥田悠夏議員から提案されました、提言第2号、SNSを活用した奈良県のさらなる情報発信について賛成します。

### ○黒崎高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があつて成立しました。

### ○黒崎高校生議長

次に、関西中央高等学校、14番、野中綸人議員から、提言第3号、ヤングケアラーの支援について提言決議方の動議が提出されましたので、野中綸人議員に趣旨弁明を求めます。

#### 提言第3号

#### ヤングケアラーの支援について

## ○野中議員

関西中央高等学校を代表して、提言第3号、ヤングケアラーの支援につきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。



(関西中央高等学校 野中綸人議員)

ヤングケアラーとは、障がいや病気を抱えていてケアを要する家族がおり、家事や家族の世話などを行う18歳未満の子どもを指す言葉です。子どもが家族をケアすること自体は問題ではありませんが、子どもとして守られるべき権利が侵害されているケースがあり、貧困家庭などの問題に比べて外部から発見しにくく、そもそも支援が必要な子どもの把握にも課題があります。

しかし、ヤングケアラーという言葉自体の認知度が低く、また、福祉・教育などさまざまな観点からの支援が必要となるため対策はまだ十分とは言えません。

学校から帰宅した後、家事や家族の世話を時間にとられ、十分に学習時間を確保できないことによる学力低下、部活動や友達と遊ぶ時間が奪われることにより、孤独を感じる子どもが出てくるのも心配です。また、金銭的な負担から労働せざるを得ないなどの理由で進路を制限されてしまう事例も出てきています。

このような状況を見ると、早急に支援対策を講じなければならないと私は考えています。政府や奈良県はこの問題に対し、早期発見や相談・支援などの対策をとっていますが、私は、例えば、県が地域で行われている食品などの配達サービスや家事代行サービスなどを支援するなどの具体的取組みを行えば、ヤングケアラーの負担軽減になり支援

につながると考えています。

このように、ヤングケアラーとされる人たちが食品などの配達サービスや家事代行サービスを利用できるようにになれば負担軽減につながると思いますので、以上をヤングケアラーの支援策として提言します。

令和4年8月19日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしく申し上げます。

## ○西込議員

ただいま野中綸人議員から提案されました、提言第3号、ヤングケアラーの支援について賛成します。

## ○貝本議員

ただいま野中綸人議員から提案されました、提言第3号、ヤングケアラーの支援について賛成します。

## ○黒崎高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があつて成立しました。

## ○黒崎高校生議長

次に、県立国際高等学校、19番、中谷いと議員から、提言第4号、空き家の活用を通じた持続可能なまちづくりについて提言決議方の動議が提出されましたので、中谷いと議員に趣旨弁明を求めます。

### 提言第4号

#### 空き家の活用を通じた 持続可能なまちづくりについて

## ○中谷議員

県立国際高等学校を代表して、提言第4号、空き家の活用を通じた持続可能なまちづくりにつきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。



**(県立国際高等学校 中谷いと議員)**

私の暮らす、奈良県東部、柳生地区は、年々人口が減少しています。奈良市がホームページで公表している「町名別世帯数及び人口」によりますと、地区の人口・世帯数は、平成26年6月には1,197人・458世帯あったのに対し、令和4年6月には人口914人・437世帯とそれぞれ283人、世帯数21世帯の差が見られ、人口・世帯数ともに減少傾向にあります。私が卒業した小学校では次に入学してくる世代が1人もいないなど、閉校の心配もあります。少人数の学校だからこそ一人一人をしっかり見てくれる、寄り添ってくれる、そんな魅力がある自分の母校が将来なくなってしまうのは辛く、この先も受け継いでくれる世代がいて欲しいと思います。

そこで私たちは山間部でよく見られる空き家を活用して、移住を考えてくださる方が増えるようなプロジェクトを提案します。県ではすでに、地域空き家対策推進事業や空き家再生等推進事業、空き家対策総合支援事業、そして、空き家バンクを利用した情報提供に取り組んでおられ、明日香村では空き家バンクを通してゲストハウスやカフェとしての活用なども行っているのを拝見しました。

しかし現在も、私の住む山間部のように空き家の活用ができていないところは沢山あります。過疎化が進む地域において、次の世代を残したいという点を考えると、空き家に住んでもらいたい、活用してもらいたいと思うターゲットは若者世代や子育て世代に当たります。そこで私たちは若者世代にもこの取組を知ってもらうために、SNS等で空き家の情報やイベントについての広告を流す、アカウントを作るなど若者世代に寄り添った情報発信をして

いきたいと考えます。空き家の活用方法としては、地元の野菜を使ったレストランを開き、若者世代を呼び込めるよう働きかけます。その際、県内の高校生も企画からメニューの開発、運営にまで携わることでより一層みんなで作り上げる持続可能なまちづくりが可能になると思います。

このように、空き家を住まいとしての活用だけでなく田舎に来てもらう、興味を持ってもらうことで、町の活性化につながることを期待できると思いますので、以上を、空き家の利用を通した持続可能なまちづくりとして提言します。

令和4年8月19日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしく願います。

#### ○岩川議員

ただいま中谷いと議員から提案されました、提言第4号、空き家の活用を通した持続可能なまちづくりについて賛成します。

#### ○片山議員

ただいま中谷いと議員から提案されました、提言第4号、空き家の活用を通した持続可能なまちづくりについて賛成します。

#### ○黒崎高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があって成立しました。

#### ○黒崎高校生議長

次に、大和高田市立高田商業高等学校、23番、田中柑名議員から、提言第5号、農業の発展と高齢者福祉を目指した農福連携の推進について提言決議方の動議が提出されましたので、田中柑名議員に趣旨弁明を求めます。

#### 提言第5号

#### 農業の発展と高齢者福祉を目指した 農福連携の推進

#### ○田中議員

大和高田市立高田商業高等学校を代表して、提言第5号、農業の発展と高齢者福祉を目指した

農福連携の推進につきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。



(大和高田市立高田商業高等学校 田中柑名議員)

現在、奈良県では農家の人手不足が問題となっています。総農家数はこの10年間で約6,000戸減少しています。

一方で健康寿命の低い奈良県にとって高齢者の健康増進対策も重要な課題です。特に奈良県は高齢者単独世帯の割合が現在も一貫して上昇を続けており、高齢者の社会性の維持が問題となっています。

そこで、こうした農業と高齢者福祉の問題解決を図るため、県が中心となって農福連携政策の一環として「高齢者農業インターン制度」をつくることを提案します。これはまず、県内で人手不足となっている農家の情報を集めデータベース化し、インターンとして高齢者を受け入れてくれる農家を登録します。そうした農家を高齢者に情報発信し、募集をかけるというものです。農家には働き手不足の解消、高齢者には運動や他者との交流の機会にもなり、収入を得る手段にもなります。

農福連携の取り組みは、これまで障がい者を対象にしたものが注目されがちでしたが、高齢者福祉の問題にも有効な対策となります。

このように高齢者農業インターン制度を通じた農業の発展と高齢者福祉を目指した農福連携の推進について奈良県が積極的に取り組むことを提言します。

令和4年8月19日奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしく申し上げます。

### ○小椋議員

ただいま田中柑名議員から提案されました、提言第5号、農業の発展と高齢者福祉を目指した農福連携の推進について賛成します。

### ○北村議員

ただいま田中柑名議員から提案されました、提言第5号、農業の発展と高齢者福祉を目指した農福連携の推進について賛成します。

### ○黒崎高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があつて成立しました。

### ○黒崎高校生議長

次に、智辯学園奈良カレッジ高等部、29番、谷水春香議員から、提言第6号、奈良県における高齢化と人口減少について提言決議方の動議が提出されましたので、谷水春香議員に趣旨弁明を求めます。

## 提言第6号

### 奈良県における高齢化と人口減少

### ○谷水議員

智辯学園奈良カレッジ高等部を代表して、提言第6号、奈良県における高齢化と人口減少につきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。



(智辯学園奈良カレッジ高等部 谷水春香議員)

奈良県公式ホームページに掲載されている「奈良県の高齢化の特徴」という資料を見ると、奈

良県は、昭和40年代頃から大阪や京都のベッドタウンとして発展してきたことが分かります。現在、この時期に奈良県に転入してきた団塊の世代が65歳以上の高齢期を迎えていることから、奈良県では、高齢者にとって住みやすい街づくりを進めていくことが大きな課題となっています。

私は、このような状況を踏まえて、高齢者がいきいきと暮らせるような高齢者のコミュニティづくりを提言します。

高齢者が元気に暮らすためには、生きがいや楽しみをもつことが大切ですが、そのためには、高齢者が仕事を退職した後も社会とのつながりをもちつづけることが必要です。そこで私は、まず県が、高齢者が、高齢者同士また他の世代の人たちとのつながりや、地域におけるコミュニティをつくるためのサポートを行い、その上で、それぞれの地域において高齢者が活躍できるような環境を整えることで、地域の実情やニーズに応じた持続可能な高齢化対策が実現できるのではないかと考えました。そして、こうしたつながりやコミュニティをつくるためには、例えば、高齢者の中で中心となって、地域で活躍できるリーダーを育成することなどが考えられます。

ベッドタウンである奈良県には、近隣の府県から引っ越してきた人や県外で働いている人が多いため、地域でのつながりが薄い人も少なくないように思います。こういった人たちが、退職後、高齢者となっても、地域とのつながりを持ち、地域の行事やサークル活動、ボランティア活動などに積極的に参加できる環境を整備することで、高齢者にとっていきいきと暮らせる街づくりが実現でき、そしてそれは多くの人にとっても住みよい魅力ある街づくりにもつながるのではないのでしょうか。

このように、高齢者が地域で活躍できる社会を目指すことで、奈良県が高齢者を含めた多くの人にとって生活しやすい都市になり、その結果、県の人口減少対策にもつながると考えますので、高齢者のコミュニティづくりを高齢化と人口減少の対策として提言します。

令和4年8月19日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしく願いします。

#### ○堀内議員

ただいま谷水春香議員から提案されました、提言第6号、奈良県における高齢化と人口減少について賛成します。

#### ○竹田議員

ただいま谷水春香議員から提案されました、提言第6号、奈良県における高齢化と人口減少について賛成します。

#### ○黒崎高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があつて成立しました。

提言第1号から提言第6号を一括議題とします。お諮りします。

提言第1号から提言第6号については、動議のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

ご着席願います。

起立多数であります。

よつて、提言第1号から提言第6号については、採択することに決しました。

#### ○黒崎高校生議長

これをもって、住みよく魅力ある奈良県づくりについての提言を終わります。

#### ○黒崎高校生議長

以上をもちまして奈良県高校生議会を閉会します。

#### ○岡本県議会事務局長

和田議長、黒崎議長、高校生議員の皆様、大変お疲れさまでございました。

それでは、ここで荒井正吾奈良県知事から本日の奈良県高校生議会についてお言葉をいただきます。

知事所感

#### ○荒井知事

本日は皆様、ご参加いただきありがとうございます

した。

いろいろなご質問を賜りまして、的を得た、よく勉強されたご質問でございました。また、参考になるご提言、ご意見がございました。大変頼もしく思った次第でございます。いただきましたご意見、ご提言等につきましては十分尊重し、今後の奈良県政に反映していきたいと思っております。皆様、これからも奈良県政に一層の関心を持ち続けていただければありがたいと思っております。いろいろな情報に接して、それを理解されてることを、大変頼もしく思った次第でございます。

奈良県は皆様のふるさとでございます。ふるさとを愛し、そのよき未来をつくるのは、これからの皆様の世代でございます。皆様お一人おひとりが住みよく魅力ある奈良県づくりのため、将来いろいろな分野で精いっぱい活躍されることを心から期待する次第でございます。

最後になりましたが、本日の高校生議会開催に当たりましてお世話いただきました学校関係の方々及び県議会関係の方々に、改めてお礼を申し上げたいと思っております。誠にありがとうございました。またお会いさせていただきます。

#### ○岡本県議会事務局長

最後に、西川均奈良県議会副議長から閉会のご挨拶を申し上げます。

#### 副議長閉会挨拶

#### ○西川県議会副議長

奈良県議会副議長の西川でございます。



高校生議員の皆様、大変お疲れさまでございま

した。高校生議会の閉会に当たり、一言ご挨拶を申し述べたいと思っております。

本日、奈良県の将来を担っていただく高校生議員の皆様から、高校生の視点で県政に関わる様々な課題について質問や提言をいただき、大変うれしく存じております。高校生の皆様には本日の経験を通じて、県政や議会活動への関心を深めていただき、今後も住みよく魅力ある奈良県づくりに関わっていただければ幸いに存じます。また、数年後には皆様の中から奈良県職員になって県をよくしたい、あるいは、奈良県議会議員を目指したいという方々が輩出されることを、心からご期待申し上げます。

結びに、高校生議会の開催に当たりご協力をいただきました学校、先生方に、また、関係各位に厚くお礼を申し上げ、閉会の挨拶といたします。ありがとうございました。

#### ○岡本県議会事務局長

一同ご起立願います。礼。

ご着席願います。

以上をもちまして奈良県高校生議会を終了いたします。

本日はありがとうございました。

閉 会  
午後4時07分